

# 平成 29 年度シラバス (水産海洋科学)

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科 (科目)	水産 (水産海洋科学)	単位数	2 単位	学年 (コース)	3 年 (食品科学コース)
使用教科書	水産と海洋の科学 (海文堂)				
副教材等	なし				

## 1 学習目標

水産や海洋の各分野における知識と技術を習得させ、水産や海洋に関する諸課題について科学的に探究するとともに、水産業及び海洋関連産業の充実を図る能力と態度を育てる。

## 2 指導の重点

- ①水産や海洋に関して横断的に学習し、次代の水産業や海洋関連産業を担う幅広い知識と技術を身につけます。
- ②水産や海洋に関する諸課題について、科学的に探究する態度を育成するとともに、これらを活用して水産業や海洋関連産業の活性化を図り、産業の充実を図る能力と態度を育てます。

## 3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	海洋と生活	○海洋の知識	○我が国周辺の海流や地形及び海洋環境等がはぐくむ豊かな漁場、多様な生物及び生態系に関する知識を習得する。	25	小テスト 定期考査 発表内容 発表態度
5	中間考査	○水産資源の育成と漁業	○合理的な漁業の方法について、国際的な連携や役割と関連させて理解する。		
6		○水産物の需給と流通	○国内外の水産物需要及びその流通に関する知識を習得する。		
6	学期末考査	○食品としての水産物	○水産物の特性や栄養、貯蔵法、加工法のほか、新しい製造法についても取り扱い、魚食文化や食育について理解する。		
7		○船の役割	○漁業、海運業、レジャー、調査等で使用されている船舶についてそれぞれの概要について理解する。		
7	1 学期のまとめ	○海洋政策と海洋関連産業	○食料基幹産業としての水産業の役割など、国際的な視点で理解させ、水産業や海洋関連産業の活性化に貢献できる知識を習得する。 ○1 学期に学習した内容について、要点をまとめ発表資料の作成を行う。 ○上記内容のポスターセッションを行う。		
9	海洋の科学	○海洋の地形と海水の組成	○海底地形や海水の組成について、津波等の災害、製塩や海洋深層水利用等の関連産業と関連させて理解する。		

10	中間考査	○海洋と生命 ○海洋と気象 ○海洋の資源・エネルギー ○深海の世界	○海洋生物の生態系における役割や生態的地位等について、採集や観察、実験・実習を通して理解する。 ○海流の特徴や水温等の海洋環境が気象や気候に与える影響について理解する。 ○海洋深層水や海底の化石燃料、メタンハイドレード等を利用したエネルギーの利用について理解する。 ○水圧実験や深海生物の観察等を通して、深海の環境と生物等について理解する。	授業の取組 発表内容 小テスト 発表態度
11	2学期のまとめ		○2学期に学習した内容について、要点をまとめ発表資料の作成を行う。 ○上記内容のポスターセッションを行う。	
12	期末考査 海洋の科学	○海洋と環境問題	○環境保全や環境改善、環境問題について、それぞれの地域の取組を理解する。	
1				
2	水産の新しい展開 学年末考査	○水産業の新たな姿	○6次産業化の概要と活動事例をもとに、これからの水産業のあり方を考える。 ○魚介類のさらなる有効利用のために、どのような方策が必要か考える。	4 授業の取組 小テスト 調べ学習のレポート

計 64 時間 (55 分授業)

#### 4 課題・提出物等

- 毎時間の終了時に本時のまとめプリントを配付します。次時その内容の確認テストを実施します。
- 学期の終わりにはポスターセッションを実施します。
- 3学期の調べ学習では、レポート作成の時間を設定しています。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
水産や海洋と人間生活のかかわりに関心を持ち、自発的に学習しようとしている。	幅広い視野で水産や海洋についての知識を深め、諸問題の解決に向けて調べて、発表することができる。	水産業及び海洋関連産業に関する諸問題について、科学的にとらえて、発表資料としてまとめることができる。	水産業及び海洋関連産業に関する諸問題の実態を理解している。
以上の観点を踏まえ ○定期考査 ○小テスト ○取組態度 ○発表内容 ○発表態度 ○調べ学習レポート などから、総合的に判断します。			

#### 6 担当者から一言

この科目は水産海洋基礎の応用科目で、水産業についてさらに深化・発展した内容を学習します。水産業の抱えるさまざまな課題についてまとめの時間を持ち、その内容を全員で共有します。海洋高校の生徒にはぜひ知っておいてもらいたい内容をとりあげますので、日々の授業を大切にしてください。(担当：矢口 沙保里)